



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 王将フードサービス
 コード番号 9936 URL <http://www.ohsho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 渡邊 直人
 (氏名) 内田 浩次

TEL 075-595-4484

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	56,943	1.9	5,490	△21.3	5,633	△21.2	3,121	△24.5
25年3月期第3四半期	55,868	5.0	6,972	△1.7	7,151	0.6	4,136	12.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,688百万円 (△10.5%) 25年3月期第3四半期 4,119百万円 (8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	154.63	—
25年3月期第3四半期	204.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	61,289	40,878	66.7
25年3月期	59,260	39,007	65.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 40,878百万円 25年3月期 39,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
26年3月期	—	40.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,807	3.3	8,083	△8.2	8,295	△8.6	4,619	△6.2	228.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	23,286,230 株	25年3月期	23,286,230 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,099,964 株	25年3月期	3,099,828 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	20,186,383 株	25年3月期3Q	20,186,408 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

＜ 連結経営成績サマリー ＞			
	金額	構成比	前年同期比
売上高	56,943 百万円	100.0 %	1.9 %増加
営業利益	5,490 百万円	9.6 %	21.3 %減少
経常利益	5,633 百万円	9.9 %	21.2 %減少
四半期純利益	3,121 百万円	5.5 %	24.5 %減少
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全店客数前年同期比3.3%増(既存店1.8%減)…直営店実績 ・ 既存店売上高前年同期比2.3%減…直営店実績 			

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な金融・財政政策に対する期待感から円安・株高が進み、企業の景況感も緩やかながら回復基調への道筋が見え始めた一方で、欧州の財政不安や新興国の経済成長の鈍化、また4月以降に予定されている消費税増税による消費低迷への懸念等により、未だ先行き不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、一部では個人消費の回復の動きも見られるものの、低価格競争や円安による原材料価格の上昇もあり、また大型台風をはじめとする天候不順もあいまって厳しい状況で推移しました。

このような状況下当社グループは、2013年12月12日に経営理念を「当社は、より美味しく、健康に、より安心、安全・衛生的に、そしてスピーディーなおもてなしを追求、進化し、常に真摯に行動し、人間力向上に努め、日々の実践と、その成果を通じて全従業員の幸せを目指し、顧客満足を創造し、広く社会に貢献します。」と多様性を尊重しながら一体感を高めるよう刷新いたしました。また、長年継続経営した店舗においてそのエリア内でも新規顧客を獲得できるようにするため、熱い商品をより熱く提供でき、おじやなどにも進化できる土鍋スタイルメニューや、多彩な料理を満喫できるよう従来よりもボリュームを抑えたジャストサイズメニューの販売を開始し、女性客や高齢者を中心として好評を博しております。

そのような中、2013年12月19日に代表取締役社長大東隆行が凶弾に倒れる事件が起きました。突然の悲報ではありましたが、個人には依存しない体制により想定外のトップ交代劇でも経営は盤石であり、同日緊急臨時取締役会にて代表取締役社長に渡邊直人を選定いたしました。また、各店舗に通常営業のさなか、お客様・皆様による「追悼餃子」と題して全従業員激励のご来店には深く感謝しております。渡邊直人新社長のもと、前社長遺志を継ぎ、ステークホルダーの皆様にお力添えを頂いて、人間力向上に努めながら顧客満足を探求し、1,000店舗目標達成に向け、東日本地域を中心に一步一步邁進しております。

店舗展開の状況につきましては、当連結会計年度の出店計画に基づき、直営22店、フランチャイズ（以下FCという）5店の新規出店、直営1店のFC店への移行、直営3店、FC3店の閉鎖を行っております。これにより当第3四半期末の店舗数は、直営460店、FC226店となりました。

① 売上高

連結売上高は、前年同期に比べて10億74百万円（1.9%）の増収で569億43百万円となりました。

② 営業利益

新店効果による増収がありましたが、材料費の高騰、電気・ガス代や人件費等の増加により、前年同期に比べて14億82百万円（21.3%）減少し、54億90百万円となりました。

③ 経常利益

上記理由等により、前年同期に比べて15億18百万円（21.2%）減少し、56億33百万円となりました。

④ 四半期純利益

上記理由等により、前年同期に比べて10億15百万円（24.5%）減少し、31億21百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ20億28百万円（3.4%）増加し、612億89百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ17億53百万円（14.1%）増加し、141億83百万円となりました。主な要因は現金及び預金の増加等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億75百万円（0.6%）増加し、471億5百万円となりました。主な要因は投資有価証券の時価の上昇に伴う増加等であります。

(負債の部)

当第3四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億58百万円（0.8%）増加し、204億11百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億51百万円（6.9%）減少し、115億17百万円となりました。主な要因は未払法人税等の減少等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10億9百万円（12.8%）増加し、88億94百万円となりました。主な要因は長期借入金の増加等であります。なお、借入金の残高は111億33百万円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ18億70百万円（4.8%）増加し、408億78百万円となりました。主な要因は配当金の支払い18億16百万円による減少に対し、四半期純利益31億21百万円の増加に加え、その他有価証券評価差額金の増加等であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.8%から66.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ18億25百万円増加し、124億86百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期より5億24百万円(10.3%)減少し、45億65百万円となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益の減少であります。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益54億94百万円に減価償却費24億90百万円等を加えた額から法人税等の支払額35億55百万円等を減じた額であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期より13億13百万円(37.6%)減少し、21億79百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出の減少であります。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出22億35百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期より10億39百万円増加し、5億64百万円となりました。主な要因は配当金の支払額の増加であります。

主な内訳は、借入金の純増加額12億52百万円や配当金の支払額18億16百万円による支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年9月20日に修正発表した業績予想の見直しに対して、当第3四半期連結業績は想定した範囲内の実績であるため、業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,697	12,527
売掛金	202	256
商品及び製品	91	108
原材料	225	325
その他	1,228	978
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	12,430	14,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,019	44,471
減価償却累計額	△28,551	△30,075
建物及び構築物(純額)	14,467	14,395
機械装置及び運搬具	2,848	2,875
減価償却累計額	△1,976	△2,143
機械装置及び運搬具(純額)	872	732
工具、器具及び備品	3,908	4,121
減価償却累計額	△3,162	△3,351
工具、器具及び備品(純額)	746	769
土地	21,580	21,671
建設仮勘定	345	238
有形固定資産合計	38,013	37,807
無形固定資産	52	54
投資その他の資産		
投資有価証券	1,771	2,293
差入保証金	4,486	4,432
その他	2,564	2,574
貸倒引当金	△58	△56
投資その他の資産合計	8,764	9,243
固定資産合計	46,830	47,105
資産合計	59,260	61,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,798	2,063
短期借入金	210	—
1年内返済予定の長期借入金	4,435	4,608
未払法人税等	1,832	363
賞与引当金	582	214
その他	3,509	4,267
流動負債合計	12,369	11,517
固定負債		
長期借入金	5,235	6,525
退職給付引当金	450	371
資産除去債務	613	655
その他	1,584	1,342
固定負債合計	7,884	8,894
負債合計	20,253	20,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,166	8,166
資本剰余金	9,031	9,031
利益剰余金	30,480	31,785
自己株式	△5,016	△5,016
株主資本合計	42,662	43,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330	893
土地再評価差額金	△3,987	△3,987
為替換算調整勘定	2	6
その他の包括利益累計額合計	△3,654	△3,088
純資産合計	39,007	40,878
負債純資産合計	59,260	61,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	55,868	56,943
売上原価	16,326	17,170
売上総利益	39,541	39,772
販売費及び一般管理費	32,568	34,282
営業利益	6,972	5,490
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	36	39
F C加盟料	95	79
受取地代家賃	49	49
雑収入	93	68
営業外収益合計	282	242
営業外費用		
支払利息	37	37
賃貸費用	22	18
雑損失	43	42
営業外費用合計	103	99
経常利益	7,151	5,633
特別利益		
固定資産売却益	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除却損	145	138
固定資産売却損	8	1
減損損失	28	—
特別損失合計	182	140
税金等調整前四半期純利益	6,973	5,494
法人税、住民税及び事業税	2,717	2,137
法人税等調整額	118	235
法人税等合計	2,836	2,373
少数株主損益調整前四半期純利益	4,136	3,121
四半期純利益	4,136	3,121

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,136	3,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	563
為替換算調整勘定	△1	3
その他の包括利益合計	△17	566
四半期包括利益	4,119	3,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,119	3,688
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,973	5,494
減価償却費	2,439	2,490
減損損失	28	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△49	△79
受取利息及び受取配当金	△44	△44
支払利息	37	37
固定資産売却損益(△は益)	4	0
固定資産除却損	145	138
たな卸資産の増減額(△は増加)	△108	△115
仕入債務の増減額(△は減少)	103	264
未払消費税等の増減額(△は減少)	△78	△3
その他	△207	△65
小計	9,251	8,114
利息及び配当金の受取額	43	44
利息の支払額	△38	△38
法人税等の支払額	△4,166	△3,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,090	4,565
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	11	△3
有形固定資産の取得による支出	△3,249	△2,235
有形固定資産の売却による収入	54	11
貸付けによる支出	△109	△58
貸付金の回収による収入	81	212
差入保証金の差入による支出	△298	△143
その他	19	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,492	△2,179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	630	△210
長期借入れによる収入	6,516	5,731
長期借入金の返済による支出	△5,460	△4,268
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,211	△1,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	474	△564
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,071	1,825
現金及び現金同等物の期首残高	8,869	10,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,941	12,486

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

該当事項はありません。